

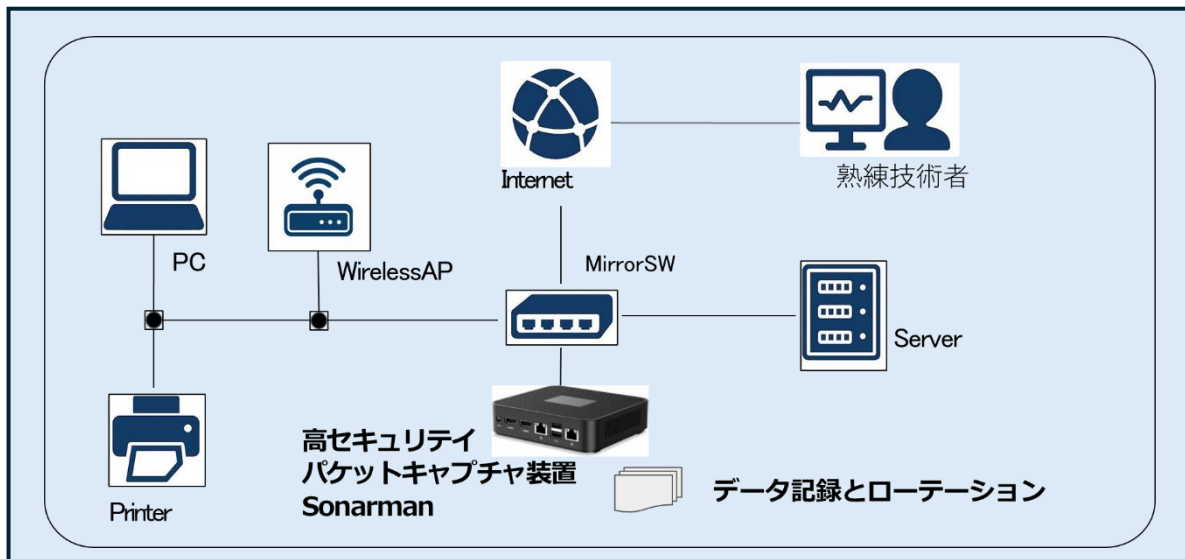
【屋内の通信ネットワークの健康診断】

日本人の熟練技術者による安心の 通信ネットワーク診断サービス



常設型パケットキャプチャ装置

常設したパケットキャプチャ装置（Sonarman）を利用して
ネットワークの健康状態や障害調査を行います。



当社はネットワーク製品の販売を行っていないため、第三者・中立の立場で、「今のネットワーク状態が妥当かどうか」「障害の原因はなにか」を調査し、改善提案を行います。改善が必要な場合、「現状維持」、「他社に相談」、「当社に相談」のいずれも選択いただけます。（セキュリティ検査は対象外）

* Sonarmanは、株式会社デベルアップジャパンが開発した製品です。

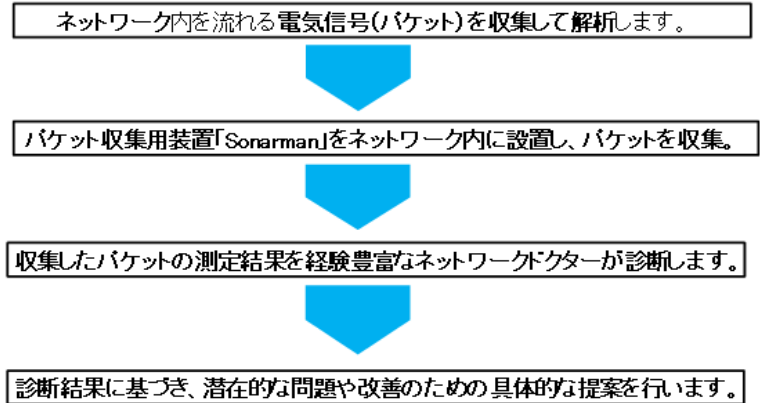
近年、多くの中小企業では、クラウド化やリモートワークの進展に伴い通信ネットワークの安定利用の重要性が高まっています。しかし、専任のネットワーク技術者を社内に置かず外注業者任せにしたりすることで、ネットワークの状態がブラックボックス化してしまい、障害発生時に原因が特定できず、手に負えないといった課題を抱えています。こうしたネットワーク障害による機会損失は、収益低下に直結します。

本サービスでは、ネットワーク内に流れる信号（パケット）を専用装置（Sonarman）で収集し、熟練（経験20年以上）の専門技術者（ドクター）が信号（パケット）解析し診断するサービスです。例えば、朝9

時前後にネットワークが遅くなるといった場合、何が原因なのかを見つけ出し、改善策などをご提供します。専門技術者（ドクター）には、長年ネットワーク検証に深く携わってきた日本人の熟練技術者が直接対応し、丁寧な説明と文書化を行うことで、お客様に安心と継続的な改善基盤を提供いたします。

一般的に「ネットワークアセスメント」では、それぞれ、調査項目ごとに複数のツールを併用して行われ、費用も高額になりますが、障害は複雑な要因によって発生するため、原因の特定には至らないケースが散見します。それに対して、熟練技術者は、その経験から信号（パケット）の状態を把握して、原因の絞り込みを行い、解決に導きます。ネットワークの健康状態の見える化（可視化）をすることで、不要な増設を避け、費用の削減を目指します。まず現状を正しく把握するためのネットワークの健康診断をご提案します。

* 価格や詳細については、弊社営業までお問合せ下さい。



通信ネットワーク診断と人の健康診断の比較例

項目		通信ネットワーク診断	人の場合の健康診断例
ステージ1	通信ネットワークの性能確認	ネットワークアセスメント（導入時、機器メーカーや販売店が行っている診断。）	定期健康診断
ステージ2	通信ネットワーク上に障害個所の有無を検査	ネットワークアセスメントでは解らない障害個所の調査（Sonarmanを利用）	検診では解らない健康状態の調査（人間ドック）
ステージ3	障害内容の特定	Sonarmanで取得したパケット解析を行い、障害内容を特定。（機器の設定変更や配置換えなどに対応）	体調不良、精密検査・投薬
ステージ4	診断による改善では手に負えない場合	通信機器の入れ替え	入院・手術

* 通信回線の増速(1回分)には、通常、機器代、設置費用など数百万円の費用がかかります。検診により、安易な増は避け、できる限りコストを掛けずに、質の高い環境を提案します。

株式会社マトリックスコミュニケーションズ

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町8-13 天翔日本橋ビル6階

Tel:03-5962-3831 Fax: 03-5962-3832

E-Mail: sales@matrixcom.jp

URL:https://matrixcom.jp

* (株)マトリックスコミュニケーションズは、無線化によるケーブルの削減を提唱しSDGsへ取り組んでいます。

* 製品の仕様は予告なく変更される場合があります。最新の仕様については弊社営業までお問合せください

